

平成二十八年年度

総会・懇親会開催

平成二十八年十一月十二日(土)、池袋駅西口近くの養老乃瀧本社ビル4階Y Rホールで開催されました。従来は、勤労福祉会館で行われておりましたが、改装工事のため使用できませんでしたので、初めて養老乃瀧本社ビルのY Rホールで開催させて頂きました。当日は、全国校友鳥取大会開催日と重なりましたので鳥取大会に参加された方々も多かったようで、総会・懇親会への参加者は、今までよりは少なく現役含め75名の校友及び来賓にお集まり頂きました。



今回の会場は今までよりは若干狭いところではありましたが、それがかえって功を奏し参加された方々との距離が大変近くなりアットホームな雰囲気の中で開催できたのではないかと印象を持ちました。

総会では、日頃の活動内容と新年度の事業案についてご審議を頂き、全会一致で原案通り可決・成立致しました。なお、新幹事として若手3名を選任致しました。また、地域支部活動を更に円滑に進めるために、若手を中心にした事務局を設置し柳田好史副幹事長が事務局長に就任することになりました。

※

総会終了後、今回は記念講演として、校友でもあります日本政策金融公庫池袋支店井原守茂支店長(写真・上)から“地方版総合戦略「まち・ひと・しごと」とソーシャルビジネス支援”と題して大変熱く語って頂きました。特に、豊島区との業務連携・協力の具体的な内容についてのお話は、非常に興味深い内容で40分間の講演はあっという間で時間の延長が必要であったのではないかと感じた次第です。そして、恒例の懇親会となり、開会の挨拶を大先輩の勝浦信男校友に力強く行って頂きました。なお、司会進行役は、幹事に選任されたばかりの若手の

ホープである野口陽子幹事、中西大輔幹事(写真・下)のフレッシュなコンビで進めました。豊島区地域支部が推進しております「老・壮・青」一体での会の運営を体現した形です。ご来賓として、公務ご多忙にもかかわらず毎回毎回ご参加頂いております高野之夫豊島区長をはじめ各地域支部支部長・幹事長をお迎えし、ご来賓を代表して高野之夫豊島区長から挨拶を頂きました。続けて鈴木正美東京商工会議所豊島支部会長の乾杯の音頭で懇親会が賑やかにはじまりました。



今回は、初登場となりました明治大学交響楽団(写真・下)から、特別に11名で構成された金管アンサンブルの力強い演奏をして頂きました。また、毎回

※

好評を頂いております明治大学応援団バトン・チアリーダー部現役学生による若さ溢れるパフォーマンスで、会場は大変な盛り上がりとなりました。締めはもちろん参加者全員が肩を組



み、現役応援団長のリードにより校歌を斉唱し、猪瀬典夫副支部長の閉会挨拶、そして兼村仁幹事による三本締めで散会となりました。

文責：幹事長板橋光一(昭和47年法学部卒)



明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部NEWS

2016年 第54号

<http://meiji-toshima.com>

フェイスブックもチェック!!

新年のご挨拶

明治大学校友会

豊島区地域支部支部長

昭和四十四年工学部卒

白砂 正人



新年明けましておめでとう御座います。「丁酉」の今年をどのようなお気持ちで迎えられましたでしょうか
 昨年は国内では公職選挙法が改正され、



選挙権が十八歳以上に引き下げられて初めての参議院選挙が七月十日にあり、東京に於いては都知事選挙が七月三十一日と夏の盛りの選挙となりました。

また海外では英国の国民投票による欧州連合離脱に始まり、アメリカ大統領選ではナシヨナリズムと排外主義を思わせる発言で台頭したトランプ氏がアメリカの次期大統領に決定しました。イタリアではレンツィ政権が国民投票の結果倒れてしまいました。今年は欧州ではフランスの大統領選、ドイツの総選挙が予定されています。

国内では東京都議会議員選挙が予定されており、小池東京都知事誕生による政局の混乱も予想されます。政治の世界では今年も予測不能の厄介な局面に入りつつあるようです。



昨年、我が豊島区地域支部として三大事（新春交流会、暑気払い、総会・懇親会）を中心として、宮城県女川町を訪問しての義捐金の贈呈、としまNPO推進協議会主催の「社会貢献活動見本市」の協賛及び「えんがわ市」でのフリーマーケット

出店、そしてその売上金を熊本地震災義援金として贈呈、明治大学東京都北部支部総会・懇親会、「明大マンドリン倶楽部O

B会メモリアルオーケストラ第2回定期演奏会の後援、明治大学東京都北部支部主催の「明治寄席」等様々な活動をしてきました。また、豊島区民社会福祉協議会に加入し「使用済み切手・書き損じハガキ寄付活動」の実践をして参りました。

その他には六大学野球（秋季）・明治対立教戦の応援とその後の懇親会（第6回）を行いました。秋季は我が明治大学が優勝し、懇親会も盛り上がりました。この様に校友会の地域活動も多岐にわたってきておりますが、我が豊島区地域支部は「老・壮・青」のバランスがよく和気藹々と個々の持ち味を生かし様々な活動に参加して頂いております。

本年は昨年以上に活動目標に対し、更に「確実に」「着実に」をモットーに活動に参加して参る所存です。

「明るく」「仲良く」「楽しい」地域社会を築くべく校友の皆様のご協力・ご支援を頂きます様、切にお願い申し上げます。本年も良き一年であります様、ご校友の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



明治魂を伝える

平成三年 文学部卒

池田 曜

「前へ！」「発破利明治がN O 1！」このフレーズを耳にしたのは、恥ずかしながら四十を過ぎた頃、明治大学校友会豊島地域支部の懇親会に参加したときのことだったと思う。そこには現役のチアリーダー達がいる我々のハートを鼓舞するがごとく熱くパフォーマンスを披露する。交友の仲間達が拳を挙げ、そして声のトーンがヒートアップしてくる。「やっぱり明治がナンバー1！」「○○を倒せーオーッ！」・・・そういう校友会幹事の方々もその魅力を感じてくれたこともあったなあ・・・(写真・左)。時間が過ぎお開き



の時間が近づくと思援団団長のリードによる校歌で肩を組み、皆一つになり声高らかに歌う。

明治魂とはこのような連帯感を醸し出すものなのだろうか？

そういえばバブル真っ盛りだった、大学4年間は。ぐーたら学生であった自分は、ろくに大学も行かずバイト(ロシア料理店でのロシア民謡生演奏)に勤しみ、六大学野球や楽ビーの応援など一切縁が無かったのに校歌も応援歌も学生歌も歌えるではないか！

大学に入学する前通っていた付属の中学高校に年一回の体育祭では春夏秋冬の四季のチームに分かれて競い合う。それぞれのチームのテーマ曲が第一応援歌から学生歌までがテーマソングとなり一丸となって応援する。

思い起こせば明治との繋がりは明治中学校を受験したことから始まる。受験勉強のための塾に行くよりも剣道の稽古に言っているほうが多かった。何とか受験に合格して得意の剣道を続けるために部活に入るも、対格差に負ける高校生との練習・厳しい上下関係に我慢できずに退部。「前に！」どころか逃げているのではないか。

中学高校の多感な時期男子だけのバンカラな校風ななかにも女子高と

の交流の憧れは強く、仲のいい友人から女子高との交流をほのめかされマンドリン部に入部。でもやっぱり楽器がうまく弾けなければ当然女子からは相手にされない。中学3年間のした済みも無い、一生懸命練習し寝れば、おっ下心見え見えだけ少しだけ前向きになって



(右が私。左は明大OBにして日本有数の剣道家、警視庁内村氏)

きたようだ。そんな邪な考えも年一回の定期演奏会、大阪でのコンクール、文化祭等、関東高等学校マンドリンクラブの集いが主な発表の場ではあるが、そこで思い通りの演奏ができた時、辛いことを乗り越えて作りあげた事の爽快感、達成感が何よりも代え難い経験として残っている。仲間のありがたさを気付かせてくれた貴重な時期である事は間違いない。同じ作業を通じお互いを高めあう、青春をやつた。

高校のときはそれなりにクラブに没

頭していたが大学四年間は本当にバイトだけ、バブルの恩恵で就職にも困らなかった。明治魂など意識もせず社会人になってしまった。

結婚をして家業をついで子育てもひと段落した頃校友会の懇親会のお誘いを受ける。そんな怠惰な大学生活を送っていたものだから恐る恐る参加したのだ。でも明治卒だから、豊島だから諸先輩方から暖かい声をかけて頂き迎え入れてもらう。そうしているうちにチアのパフォーマンス、そして校歌。スクラム組んで「おおー明治ー♪」なんだか気持ちが高揚してくる。怠惰な学生時代をすごした罪悪感も薄れてくる。

きつとこれだ、明治魂は！仲間と一体になれる連帯感、そして仲間が背中を押してくれて「前へ！」

※編集部より

文中、怪しい日本語が登場する箇所が数か所ありますが、筆者の「言葉遊びと理解して！」という説明を汲み、敢えて校正を行わずにそのまま掲載させていただきます。

◆二〇一七年校友会豊島地域支部

賀詞交歓会のご案内

日時 平成二十九年二月十一日
会場 地球飯店 池袋本店

西池袋一ノ二ノ八

第一三笠ビル 三階

校友・企業紹介

西武信用金庫 池袋支店

小林 雄一

平成18年 商学部商学科卒



この度はこのような貴重な機会を頂き、心より感謝申し上げます。

校友会豊島区地域支部には、平成二十八年十一月に開催された総会および懇親会を機に入会させていただきました。

※

現在は大学卒業後より勤めている、西武信用金庫池袋支店にて営業担当としております。西東京市にある保谷支店に新人として入庫し、中野区にある薬師駅前支店を経て、現在3店舗目の勤務となります。

西武信用金庫は、東京都・埼玉県・神奈川県の一部を事業区域として、地域社会の発展に寄与することを目的に活動する、協同組織金融機関です。

現在所属する池袋支店は69番目の店舗として平成二十七年五月(豊島区役所新庁舎の開庁と同時期)に開設された支店でございます。

豊島区には初めての outlet 店となり、地域の皆様に少しでも西武信用金庫を知って頂こうと、**「前前」**の精神で(私は大学時代テニスサークルでしたが)日々奮闘しているところです！

その中で、私は主に東池袋の地区、及び豊島区の明治大学の先輩方であればどのエリアでも担当させていただいております。

信用金庫の仕事というのは、お客さまからお預かりした預金を、資金を必要としているお客さまに融資すること、地域の繁栄のお手伝いをさせていただくことです。



また、当金庫は**「お客さま支援センター」**として、幅広いネットワークを活かした付加価値の高い支援メニューをご提供することで、事業者の皆さまや住民の皆さまを支援させていただいております。

店が人を「つなぐ」店が事業をつなぐ」をモットーに、一番身近な金融機関の人間と
思われるよう、何事にもポジティブに取り組みしております。

当金庫はおかげさまで業績は順調に推移しております。それはいえにお取引
いただいているお客さまの力が凄いいからです。お客さまが元気でいなければ当金庫だけ元気になることはあり得ません。

池袋支店もオープンから一年半がたち、少しずつではありますがお客さまの数も増加しております。平

成二十九年三月七日に池袋西武会(お客様同士の交流や深耕、発展を目的とする会)を発足させて頂くことが正式に決定いたしました。柳田好史先輩・兼村仁先輩も会の主力メンバーとなって頂いたことを大変力強く感じており、大変感謝しております。

※

豊島区の企業や個人の皆様は、大変勢いのある方々が非常に多いと日々営業活動をしている中で感じております。
たまたま転勤にて池袋で働くこととなりましたが、このご縁を大切にし、皆様の事業の発展のお手伝いをさせていただくことが、豊島区の発展にも貢献できるものと思いで仕事に精進して参りたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

西武信用金庫 池袋支店
南池袋二ノ二八ノ三 KHK ビル3階 03-5955-3101